

磐城時報

印刷部... 石城郡... 磐城時報社

失業者救済に頭を絞る町當局

水道工事を進捗する外 一般土木工事にも採用

平町上水道擴張工事に使役する度に出でざるが、更に労働者... 失業者を救済する意味で便役し得るわけ、町議員も

炭礦の業績調査

常磐各炭礦で注目

鐵道省では常磐炭礦の礦務所に就いて過般來嚴密な業績調査を行つてゐるが右は六年度鐵道納

町村事務主任會

石城郡町村事務主任會は昨日午前十時から町各種團體事務

算術講習會

教育會主催の算術講習會は本月二十五日午前九時から五日間

平驛から

神詣で列車 神詣團體の便宜を願うため水戸

不景氣知らずの小野田炭礦部落

石城郡磐城村小野田方は本春一箇の中耕も終り成績非常に良

御影石堀出しのため

石城郡磐城村小野田方は本春一箇の中耕も終り成績非常に良

例年より寒さが早い 秋刀魚不漁の原因

八九度の暖流が流れるのに今年は今より早く早く流れて来た為

石城地方の 麥作成績

石城地方大小麥作況をみるに早まきのものは三四寸位成長し第

明年度から着工される 四倉漁港修築案

明年度から三ヶ年の繼續事業として四倉漁港に計上された

平郵便局で臨時増員

平郵便局では二十日から年賀郵便の受付取扱ひをなすので五

聚樂館で慰安興行

大景品を進呈する 喜劇界の王滿十郎一座を以て今

乾柿泥棒

南町某氏憤慨

秋も過ぎた節物のツシ柿がそろそろ石城地方には名物の蜂谷ツ

▲平の歳末気分 歳末気分が動き出して平町地方の昨今は不景氣風におびえ切りの...

▲相馬支局通信 相馬支局に寒かつと思ふてゐた二日は早朝に雨であつたが...

▲度量衡違反 相馬郡小高町果實商三上源助(三三)同町菓子製造業浦原安治(二八)の...

▲青年雄辯大會 相馬北部聯盟雄辯大會は鹿島校に開催大盛況であつた審査の結果...

▲晩秋を飾る 名物産通り秋市も小高町、浪江町は終りを告げ、四日から三日間夜通しに開市する地の...

▲原町の秋市 名物産通り秋市も小高町、浪江町は終りを告げ、四日から三日間夜通しに開市する地の...

利と時の利を得て居る原町

てこれが準備にも何處よりも大掛りで真剣である、確しもの主なるものは原町生産物大展會を尋常小學校及び公會堂に、結婚衣裳大陳列會、小笠原流水引結方製作品陳列會、生花競技大會、原町櫻工藝研究會製作品即賣會は原町幼稚園大廣間に古今有名書畫觀覽大會、各種珍貴行物は廣き聚樂園の處に狭く建て並べ民謡大會は本町中央三島神社大廣前によく集つたと驚く程各方面より集まり全町を埋める程で各店に御座り大投資金を改築にと珍意匠を凝らして店頭を飾り煙火は晝夜連發で景氣を付ける等各店に各團體に思ひを込めて催物がある事とてその盛況は素晴らしいものである。

漫談 淺野翁の強情 野總一郎翁は臨終の直前まで強情な性格を遺憾なく發揮してゐた翁が洋行して外國から俄に歸朝したのが食道癪のためではあつたが、實はこのことを翁に知らせると例の氣性で何を仕出かすか知れないから癪といふことは絶対秘密にして「食道癪症」といふことにしておいた。

君乃家 永らく皆様の御最負を頂きました叶屋を廢めまして私此度左記の料理店を開きました何卒倍舊の御引立と願ひます 十一月二十七日 平町田町元千鳥跡 電話三八二番

折日の出納豆 東京方面その他の御進物は特に勉強御電話があれば一個でも配達致します 一個八錢 佐藤善次郎商店 電話三七四番

開店披露 永らく皆様の御最負を頂きました叶屋を廢めまして私此度左記の料理店を開きました何卒倍舊の御引立と願ひます 十一月二十七日 平町田町元千鳥跡 電話三八二番

度量衡計量器 吸入酸素器 關内藥局 電話四〇番

平製氷株式會社

家庭圓滿御健康の秘訣 家庭圓滿御健康の經濟から!!! 美味で安價で滋養と云へば何時でも豆で丈夫な 折日の出納豆 東京方面その他の御進物は特に勉強御電話があれば一個でも配達致します 一個八錢 佐藤善次郎商店 電話三七四番

開店披露 永らく皆様の御最負を頂きました叶屋を廢めまして私此度左記の料理店を開きました何卒倍舊の御引立と願ひます 十一月二十七日 平町田町元千鳥跡 電話三八二番

君乃家 永らく皆様の御最負を頂きました叶屋を廢めまして私此度左記の料理店を開きました何卒倍舊の御引立と願ひます 十一月二十七日 平町田町元千鳥跡 電話三八二番

度量衡計量器 吸入酸素器 關内藥局 電話四〇番

平製氷株式會社

首より上の化粧品と器具 化粧店用バリカンと剃刀 安全の及ぶ器械及び皮砥 白衣と鏡取揃えてあります 經濟のクリーム・ポマード ハカリ賣 フケ取香水・純椿油 平町土橋山崎合名會社向 芳香園理髮器具店 電話六八〇番

學生外套特賣 酷寒・強雨にも耐く生地・透氣型仕立100パーセント提供 中學用(極上) 8,500 小學用(極上) 5,500 全部頭巾付 なかや洋服店 平二 電203

故弟荒川宗太郎儀於仙臺死去仕候此段辱知諸氏に以紙上謹告仕候 追而葬儀は十二月四日午後二時式に依り執行仕候 十二月三日 平町字七軒町 荒川恒次郎 外親戚一同

平製氷株式會社

平製氷株式會社

第拾 決算報告 (昭和五年年度) 貸借対照表

利益金處分

貸借対照表 (續)

貸借対照表 (續)

平製氷株式會社